

平成27年度姫島村学校教育指導計画

姫島村教育委員会

I 学校教育基本目標

ふるさと姫島に誇りを持ち、「生きる力」を育む学校教育の推進

- ・ 姫島で生まれたことに誇りを持つ。
- ・ 姫島で育ったことに誇りを持つ。
- ・ 姫島の学校で教育を受けたことに誇りを持つ。

確かな学力

基礎・基本を確実に身につけ、
自ら課題を見つけ、学び、考え、
主体的に判断し、行動し
よりよく問題を解決する資質や能力

生きる力

豊かな人間性

自らを律しつつ
他人とともに協調し
他人を思いやる心や
感動する心など

健康・体力

たくましく生きるための
健康や体力

II 指導の重点方針

「芯の通った学校組織（目標達成に向けた組織的な取り組みを行う学校・基盤となる運営体制が確立した学校）」の構築に向けて、「学力向上」「体力向上」「組織力向上」のアクションプランを推進する。

また、姫島の特色ある教育環境（ジオパーク等）を活用しながらESD（持続可能な発展のための教育）の手法を取り入れた先導的な学校教育を小・中一貫体制で行い、9年間を見通した長期的ビジョンのもと「姫島のために貢献したい」と考える人材、すなわちふるさとへの「誇り」を育む教育を行う。

III 指導の重点項目

1. 確かな学力の育成

「姫島村学力向上アクションプラン」の実践

(1) 創意工夫した教育課程の編成と授業時数の確保

- ・指導内容の重点化
- ・「全国学力・学習状況調査」「大分県学力定着状況調査」「村標準学力調査」の結果分析による課題の焦点化と手だての実践
- ・小・中一貫した接続カリキュラムの作成
- ・土曜日の教育活動の実施（原則月1回）

(2) 教員の授業力の向上

- ・小・中一貫の視点からの共通の研究テーマに基づいた授業改善への取組
- ・加配教員を活用してのTT指導や習熟度別少人数指導指の工夫改善
【（小学校配置）主幹教諭加配、教育困難校特別加配】 【（中学校配置）数学 力向上支援教員加配、英語習熟度別少人数指導推進加配】
- ・新大分スタンダードによる学びに向かう力と思考力・判断力・表現力を育成する教育の推進 ①「1時間完結」型授業、②板書の構造化・板書とノートの一体化、③習熟の程度に応じたきめ細かい指導の充実、④問題解決的な展開の授業（生徒指導の3機能を意識して）
- ・「活用」型授業の促進、読書活動・言語活動（記録・要約・説明等）の推進
- ・ICT活用授業実施のための機器活用能力の育成
- ・小・中共通の学習規律の徹底

学

(3) 補充学習等の充実

- ・かっこ塾の継続（小4～6年・国語、算数、理科）
- ・土曜日塾の継続（中3年・数学）
- ・水曜日塾の継続（中2年・数学）
- ・夏休み学習チューター事業（中1～3年・5日間）による英語学習の促進
- ・長期休業中の補習の実施（学力向上ステップアップ・小4～6年・5日間）
（学習相談・中1～3年・5日間）
- ・帯時間や放課後の活用（かっこタイム・水・金曜日の帯時間15分）、
（かっこチャレンジタイム・月・木曜日の放課後30分）、（やはずタイム、
月・火・木の放課後15分）

(4) 家庭・地域との連携による小・中一貫した望ましい生活習慣や学習習慣の育成

- ・幼・小・中あいさつ運動の実施

- ・「姫島っ子 家庭学習のすすめ」の活用（小・中）
 - ・学校、地域との連携による学校の重点目標達成（目標協働達成）（中）
 - ・「学校のきまり」の推進（小）
 - ・「かにかっこがんばりカード」による「がんばり週間」等の実施（小）
- ・保・幼・小・中と各PTA及び図書司書連携による子どもの読書力育成
子ども読書推進協議会（年3回）、学校図書館関係者会(年3回)の開催
「姫島村子ども読書活動推進計画」の活用

（5）学力向上指導体制の確立と教職員の意識改革

- ・姫島中学校「目標協働達成モデル校」（2年次）としての実践、成果を小学校にも波及させる。
- ・学力向上対策協議会（年3回、第2回、第3回は小中別）の強化
- ・教務主任会議（年6回）によるミドルリーダーの育成
- ・幼・小・中スクラムプラン（相互乗り入れ授業、合同研究会、教職員の交流等）の推進。小1プロブレム・中1ギャップの克服。

2. 健康な体の育成と体力の向上

「姫島村体力向上アクションプラン」の実践

（1）学校体育の充実

- ・「体力・運動能力調査」の結果分析による課題の焦点化と指導の工夫
- ・1校1実践の計画・実践・見直し
（小学校 なわとび、中学校 サーキットトレーニング）
- ・体育授業の互見授業（小学校）による指導力向上と授業改善（体育専科教員の活用）
- ・講師招聘による水泳教室（小学校）の継続
- ・体力カード、泳力カード小・中9年間の連続性を生かした児童生徒の体力向上の取組

（2）保健教育の指導と推進

- ・歯・口の健康づくり（フッ素洗口）の継続
- ・学校保健安全委員会の実働化
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的な生活習慣の育成、保持（「かにかっこがんばり週間」の設定等）
- ・感染症等の早期探知、早期対策、予防指導（学校医との連携）

（3）食育の推進と学校給食の充実

- ・地産地消の推進
- ・学校栄養職員と連携しての食育の推進

(4) 地域人材の活用による運動部活動の充実

- ・「少年野球部」「少女バレー部」「少年少女テニス部」への入部勧誘
- ・中学校部活動の外部指導者活用促進

3. 豊かな心の育成

(1) 心に響く道德教育の充実と体験活動の推進

- ・「心のノート」の活用等による「道德」時間の指導の工夫・改善
- ・教科学習と連動した自然体験や生活体験、異年齢集団による活動等の推進
(福祉体験学習、三世代ふれあい交流、稲作・餅つき大会、海岸清掃、きらきら大作戦、花いっぱい運動等の推進)

(2) 意図的・計画的な人権教育の推進

- ・人権8課題の計画的系統的な人権教育の推進
- ・「人権教育の指導方法等のあり方について(第3次とりまとめ)」の学習と実践。人権教育の具体的手法や体験的参加型学習の取り入れ

(3) 郷土や国を愛する心の育成

- ・小学校「私たちの姫島村」の改訂作業
- ・稚魚放流、磯遊び、お魚料理教室、漁業体験、水産教室等の系統的体験活動推進
- ・ジオ学習の充実、推進
- ・ふるさと教室(盆踊り参加)等の青少年健全育成事業の推進

(4) 読書活動や文化・芸術活動の推進

- ・モーニング読書「月・木曜日15分(小)、月～金曜日15分(中)」
読み聞かせ、図書館司書派遣等による読書活動の推進
- ・名人さんに学ぼう、芸術鑑賞等の継続

(5) 生徒指導の機能を生かした教育活動の推進

- ・相談室の設置
- ・スクールカウンセラーの活用

4. 時代の変化を見据えた教育の展開

(1) 国際理解（外国語）教育の推進

- ・ 中学校英語教師とのTTによる小学校外国語活動の継続
 - ・ 国東高校ALTの招聘の継続
- ・ APU学生を招聘しての学習チューター事業（英語学習とふれあい交流）
 - ・ 小・中学校ともにユネスコスクール加盟申請への取組

(2) 系統的なキャリア教育の推進

- ・ 職場調べ、職場見学、職場体験の実施、継続

(3) 情報教育の推進

- ・ 視聴覚機器を活用したICT授業の実施
 - ・ 情報モラルの育成やUSBメモリー等の管理

5. 信頼と協働による学校づくり

(1) おおいた姫島ジオパークに係わる教育活動の推進

- ・ おおいた豊後大野ジオパークの小学生との交流学习の継続（菅尾小4～6年）
- ・ ジオクルーズ、アサギマダラマーキング、黒曜石での石器体験等ジオ学習の充実、推進

(2) 開かれた学校づくり

- ・ 学校開放、授業公開等の推進
- ・ 園・学校だより、ホームページを通しての情報発信の推進
- ・ 学校評価の公開
- ・ 少年消防隊や盆踊り等、地域と一体化しての活動の充実

(3) 危機管理の充実と徹底

- ・ 危機管理マニュアルの見直し
 - ・ 防災教育と避難訓練
 - ・ 交通安全教室
- ・ 教職員と服務規律の保持（職務上・身分上の服務義務）

6. 組織的課題解決力の向上

「姫島村組織力向上計画」「先進的・先導的取組」の実践

(1) 教務主任、研究主任等のミドルリーダーの育成

- ・ 教務主任会議（年6回）の開催とOJTの推進

- ・学校運営組織図の作成と主要主任の位置づけの確認

(2) 学校評価の充実

- ・学校自己評価と学校関係者評価の実施（年3回）

(3) 主幹教諭の活用

- ・職務内容の周知と先導的な取組

IV・教育基盤の整備

1. 教職員が教育活動に専念できる支援の充実

健康面、衛生面の組織的支援体制の構築

- ・学校安全衛生委員会の開催
- ・定期健康診断、精密検査、ストレス診断等の促進

2. 教育環境の整備

- ・幼稚園トイレ便器取替工事
- ・小学校プールトイレ便器取替工事
 - ・小・中学校体育館トイレ便器取替工事
- ・小学校外トイレ改修工事
- ・中学校体育館渡り廊下改修工事